



エコアクション21 2024年度 環境経営レポート

(対象期間 2024年4月～2025年3月)



2025年6月20日 発行

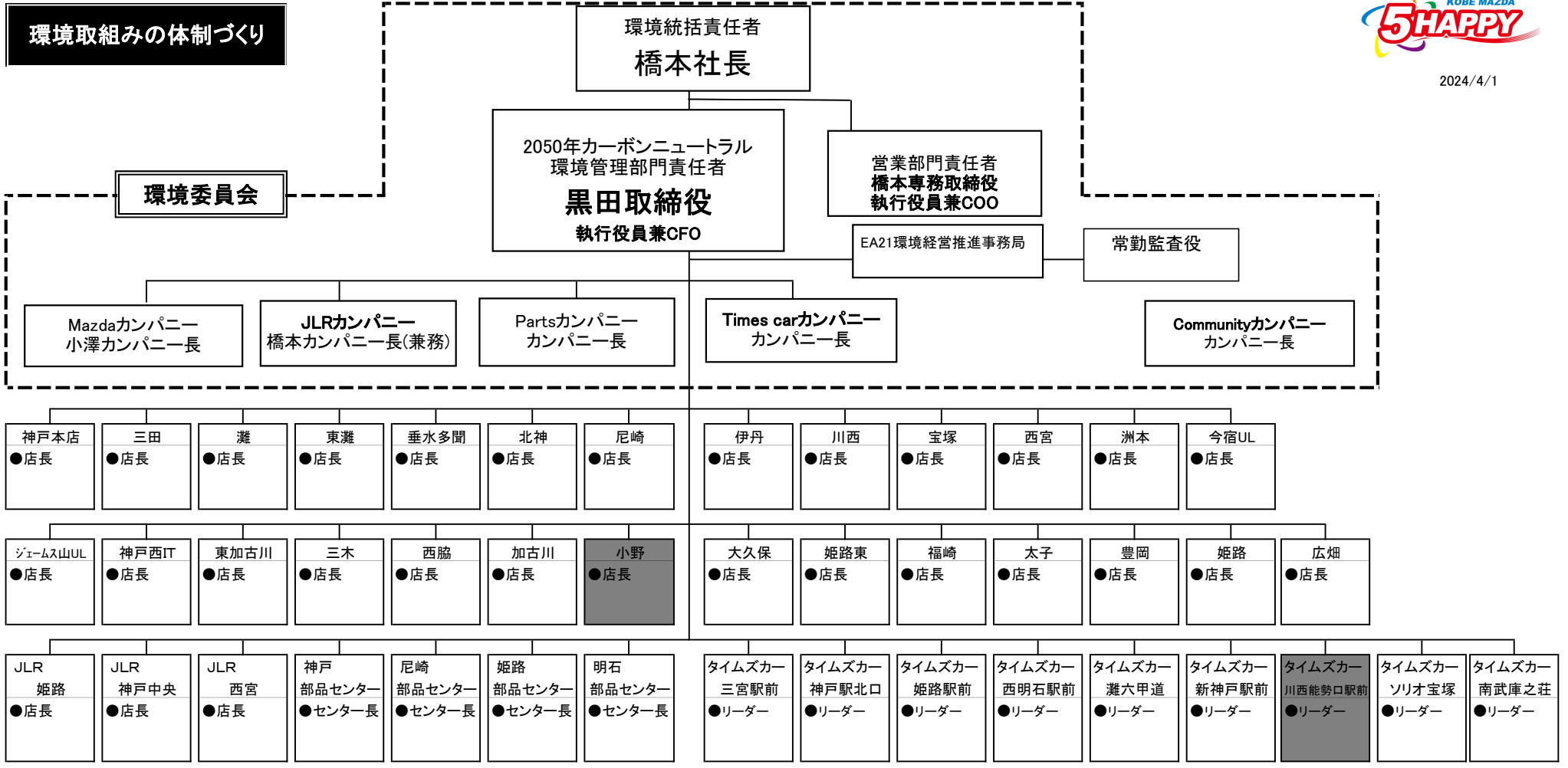
株式会社神戸マツダ

1. 組織の概要



■組織の概要

事業者名	株式会社神戸マツダ
所在地	兵庫県神戸市兵庫区東柳原町3番10号
代表者	代表取締役社長 橋本 寛
事業内容	新車・中古車の車両販売及び整備、レンタカー
事業規模 (2024年度実績)	売上高 374億(2025年3月期) 新車売上台数 5,698台 中古車売上台数 5,819台 整備入庫台数 137,215台
従業員数	792人(2025年3月31日現在)、パート・アルバイト含)
環境管理責任者	取締役執行役員兼CFO 黒田 靖博
担当連絡先	業務管理Grコンプライアンス推進事務局 電話番号:078-671-5266 FAX番号:078-672-6870
EA21推進事務局	業務管理Gr エコアクション21環境経営推進チーム



- 環境統括責任者**
 <代表者・社長>
 ・環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者
 ・EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意
 ・環境管理責任者の任命
 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
 ・環境経営目標の設定を承認
 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
 ・環境経営活動レポートの承認
- 環境管理責任者**
 <役員・管理/サービス部門長>
 ・実務上の責任者として、環境取り組みを推進
 ※代表者は、環境経営活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲
 ・EMSの構築、実施、管理
 ・環境経営活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認
 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
 ・環境経営活動レポートの確認
- EA21推進事務局**
 ・環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取り組みを推進
 ・店舗の環境取り組みの指導・支援
 ・環境データの集計・取りまとめ
 ・全社環境委員会の事務局
- 部門長**
 ・全社環境委員会のメンバーとして、全社の環境取り組みを推進
 ・担当部門の環境取り組みの責任者
- 担当カンパニー長**
 ・担当カンパニー内の店舗の環境取組の管理
■店舗環境管理責任者
 <正: 店長(●)、副: サービスMgr(◎)>
 ・店長: 店舗の環境取り組み全体の責任者として、店舗環境取組の推進・管理
 ・サービスMgr: MECA21を中心にサービス領域の環境取り組みに責任を持つとともに店舗全体の環境取り組みにおいて店長をサポートする

*黒塗りの店舗は期中に閉店。

2. 対象範囲



1) 対象事業所: 本社及び43事業所

No	店舗名	住所	代表電話番号
1	神戸本店及び本社	神戸市兵庫区東柳原町3-10	078-671-1001
2	三田店	三田市武庫が丘7-7-1	079-562-1231
3	灘店	神戸市灘区記田町3-3-19	078-821-2221
4	東灘店	神戸市東灘区本山南町8-7-32	078-431-3601
5	垂水多聞店	神戸市垂水区多聞町字小束山868番28	078-792-2525
6	北神店	神戸市北区有野中町2-16-22	078-981-0581
7	尼崎店	尼崎市久々知西町2-17-6	06-6427-0551
8	伊丹店	伊丹市北園2-32	0727-82-1351
9	川西店	川西市平野2-6-20	0727-92-0436
10	宝塚店	宝塚市旭町3-7-15	0797-81-1221
11	西宮店	西宮市室川町3-10	0798-71-3990
12	洲本店	洲本市桑間字下フク344-1	0799-22-4131
13	神戸西インター店	神戸市西区見津が丘4丁目9-10	078-998-3133
14	東加古川店	加古川市平岡町新在家坪井32-1	0794-25-3156
15	三木店	三木市別所町小林703-2	0794-85-3803
16	西脇店	西脇市下戸田39	0795-22-4796
17	加古川店	高砂市米田町米田字平津前1016-1	0794-32-6933
18	小野店	小野市王子町字辻の内598	0794-62-4981
19	大久保店	明石市大久保町福田209-1	078-935-5038
20	姫路東店	姫路市宮西町3-30	0792-24-2381
21	福崎店	神崎郡福崎町西田原1475-1	0790-22-1121
22	太子店	揖保郡太子町東南347-5	0792-76-0555
23	豊岡店	豊岡市大手町8-28	0796-22-5275
24	姫路店	姫路市東今宿4-1-3	0792-93-8151
25	広畑店	姫路市大津区恵比酒町2-7	0792-36-5381
26	ジェームス山UL店	神戸市垂水区青山台8-1-70	078-754-7566
27	今宿UL店	姫路市神子崗前3丁目1-1	0792-97-7337
28	ジャガー・ランドローバー西宮	西宮市甲子園口5-13-24	0798-63-6006
29	ジャガー・ランドローバー神戸中央	神戸市中央区雲井通2-1-6-102	078-241-3777
30	ジャガー・ランドローバー姫路	姫路市土山7丁目6-15	079-290-5555
31	タイムズカー灘六甲道店	神戸市灘区永手町1丁目1	078-855-5515
32	タイムズカー川西能勢口駅前店	川西市小花1丁目7-13	072-767-7833
33	タイムズカーソリオ宝塚店	宝塚市栄町2丁目1番1号	0797-26-7355
34	タイムズカー新神戸駅前店	神戸市中央区北野町1丁目	078-251-5656
35	タイムズカー三宮駅前店	神戸市中央区小野柄通5丁目1番27号	078-251-6421
36	タイムズカー神戸駅北口店	神戸市兵庫区水木通1-4-28	078-578-1744
37	タイムズカー姫路駅前店	姫路市東駅前町24 姫路SKビル	079-284-1792
38	タイムズカー西明石駅前店	明石市小久保2丁目1-20	078-926-0089
39	タイムズカー南武庫之荘店	尼崎市南武庫之荘店	06-6420-4388
40	尼崎部品センター	尼崎市久々知西町2-3-11	06-6426-4190
41	明石部品センター	明石市藤が丘1丁目16-7	078-923-0345
42	姫路部品センター	姫路市御国野町国分寺字牛塚45	079-253-2851
43	神戸部品センター	神戸市兵庫区東柳原町3-10	078-651-6591

2) 対象範囲拡大・縮小

なし（但し、タイムスカー川西能勢口駅前店については2024年5月16日閉店、小野店については2024年6月30日閉店、東灘店については2025年3月31日閉店 2025年4月1日以降抹消。又、タイムスカー南武庫之荘店が西宮171店の業務を引継ぐ形で2024年11月2日開店。その他、神戸部品センターが2024年8月20日神戸市長田区駒ヶ林南町1-46/078-797-5260へ移転、太子店が2025年2月8日兵庫県揖保郡太子町東出字藤社240番1/079-276-0555へ移転）

3) 対象範囲

新車・中古車の車両販売及び整備、レンタカー



環境経営 方針

<基本理念>

私共、神戸マツダは、「5つの幸せを通じたモビリティ社会の実現・発展のために」内発的動機により、自ら考え働く社員が集う誇れる職場にし、人々の人生を変えるクルマ、価値観を変える感動を提供、みんなに寄り添い付加価値を提供するモビリティカンパニー！として地域の皆様との融合を図り、自動車販売・自動車整備など全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、「2050年カーボンニュートラル」に向けて環境経営を深化させ、「脱炭素」温室効果ガス排出量の半減を実現する。

<行動指針>

- 1.環境に関する法規制を遵守します。
- 2.限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
- 3.使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
- 4.環境型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
- 5.環境に配慮した製品の提供を推進します。
- 6.環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
- 7.使用する化学物質の適正管理を徹底します。
- 8.全従業員にこの環境経営方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し公表します。



制定日 平成23年4月1日

改定日 令和6年 4月1日

株式会社 神戸マツダ

代表取締役社長

橋本 覚

4. 環境経営目標

1. 環境負荷の現状

項目	単位	2023年度	→	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,144,492	→	2,109,681
電力使用量	kWh	3,701,405	→	3,686,736
化石燃料	ガソリン使用量	L	→	301,875
	軽油使用量	L	→	66,420
	都市ガス使用量	m ³	→	28,778
	LPガス使用量	Kg	→	207
産業廃棄物排出量	kg	180,628	→	201,587
一般廃棄物排出量	kg	23,629	→	23,050
水使用量	m ³	30,018	→	29,379
化学物質使用量	g	-	→	2,654

2. 環境目標(年間)

項目	単位	基準値 2021年度実績	削減率: 前年度実績 0.5%				
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,447,840	2,435,601	2,423,423	2,411,306	2,399,249	
電力使用量	kWh	3,763,053	3,744,238	3,725,517	3,706,889	3,688,355	
化石燃料	ガソリン使用量	L	333,037	331,372	329,715	328,066	326,426
	軽油使用量	L	83,819	83,400	82,983	82,568	82,155
	都市ガス使用量	m ³	38,846	38,652	38,459	38,266	38,075
	LPガス使用量	kg	665	662	658	655	652
産業廃棄物排出量	kg	463,791	461,472	459,165	456,869	454,585	
一般廃棄物排出量	kg	22,993	22,878	22,764	22,650	22,537	
水使用量	m ³	28,082	27,942	27,802	27,663	27,525	
A重油	L	33,000	32,835	32,671	0	0	
化学物質使用量	g	化学物質の使用を適正に管理する					

「購入電力(関西電力)2019年度の調整後排出係数:0.318(kg-CO₂/kWh)」

5. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

① 不要な照明の消灯・節電の徹底

- ・ ショールーム営業終了時間を18時30分にし、照明・空調使用時間を短縮する。
- ・ メジャーサイン・看板照明等は営業終了時に消灯し、点灯時間も季節毎に見直す。
(冬季17時、夏季18時 等)
- ・ 昼休み・休憩時は事務所・工場等の消灯実施。(原則12時から13時は消灯)
- ・ 使用時以外のトイレ・会議室・給湯室・更衣室・部品庫等の消灯確認。
- ・ 自販機の夜間照明を消す。
- ・ ショールーム・事務所の照明を日照時間によって、こまめに消灯し、節電を図る。
(ショールームガラス側の消灯及び個別照明の消灯)
- ・ パソコン・コピー機・プリンター等をこまめに待機モードにし、長時間離席する時は電源を切る。

② 冷暖房の設定温度を管理する

- ・ クールビズ・ウォームビズにより、事務所空調を冷房28℃、暖房20℃の温度設定の徹底。
- ・ 原則20時以降の空調は使用禁止。
- ・ お客様スペースは過剰な冷暖房にならないように、温度管理を徹底する。
- ・ 本社及び事務所内を全面禁煙とし、換気による窓の開閉を無くし、冷暖房の効率を上げる。
- ・ フロン排出抑制法で、簡易点検(3ヶ月毎)を行い機器の保守管理を実施する事により節電管理を図る。

③ エアコンフィルターの清掃

- ・ 清掃日を定めて、月一回清掃を実施する。

④ 待機電源オフの徹底

- ・ カンパニー長・部門長・店長は待機電源オフ責任者となり、退社時に必ず確認を行う。

⑤ 電気使用時間の縮小

- ・ デジタルで進化、DXで業務効率を改善するなど残業削減に向けた取組みにより節電に努める。
- ・ 原則本社は20時00分以降は残業禁止とする。

⑥ 設備投資を行う事により、老朽化機器の計画的更新と職場環境の改善を図る。

- ・ Mazda Coは全店新世代化、JLR Coは新CI化、パーツCoはオートメーション化。
- ・ 冷暖房機器の更新を順次行い電気量の軽減を図る

(2) 化石燃料使用の削減

① エコドライブの実践(ガソリン・軽油共通)

- ・ 「エコドライブ10のすすめ」を実践し、習慣化する。

② 燃費向上策の実施

- ・ ガソリン給油量を一回15リットルとすることで、重さの軽減による燃費の向上をすすめる。
- ・ 社用車の空気圧、不要に荷物が積まれているかのチェック管理を行う。
- ・ ECOオイル交換、エアエレメント清掃交換を進める。
- ・ ディーゼルの使用車両が増加した為、燃費の向上が見込める。
- ・ 社有車の入替え時期を早め、新型車導入による燃費改善を図る
- ・ 残業時間の見直しとウォームビズを早期に実施し暖房時間の短縮を図る。



2.廃棄物排出量の削減

(1)紙使用量の削減

- ①両面・縮小コピー(A4×2枚→A3)の活用推進
- ②使用済みやミスコピー用紙の裏面使用の徹底
- ③裏紙用紙のストックボックスの設置
- ④コピー使用後に「リセットボタン」を押すように意識付け
- ⑤FAX受信を電子データ(pdf)に変換し、紙の使用を削減
- ⑥社内資料及び配布資料のペーパーレス化の推進
- ⑦古封筒を社内使用に活用する

(2)一般廃棄物の削減

- ①分別を推進し一般ゴミの削減を推進
- ②古紙、ダンボール等の資源再生化
- ③個人情報資料の溶解再生紙化(年2回実施)
シュレッダーの使用を抑え、定期的に収集処理を行う
- ④雑誌・カタログ等の冊子類の再生紙の利用化



(3)産業廃棄物の削減及び適正処理

- ①適正分別化を行うことによる処理量の軽減
- ②大型廃棄物(ペール缶・一斗缶等)を、圧縮し減容化を行う
- ③産業廃棄物電子マニフェスト化による廃棄物処理の透明化と委託業者の見直し
- ④トナーカートリッジの再生利用

3.水使用量の削減

- ①水道水節水に取り組むため、水道の使用量を検針表にて把握、漏水の有無を確認する
- ②洗車用ホースにストップノズルを取り付ける
- ③節水の表示を各蛇口に取り付ける
- ④自動洗車機の導入を促進、さらに節水タイプの導入を行う事により節水を促進する

4.化学物質使用の適正管理

- ①年2回(6月・12月)の「作業環境測定」及び「溶接ヒューム測定」の実施により健康管理
- ②年1回の「健康診断」実施
- ③年1回の「リスクアセスメント研修」の実施により、化学物質による危険性・健康障害のリスク低減

5.その他

- ①エコキャップなどリサイクル運動の推進
- ②ペットボトル、缶類を搬入業者に回収依頼する事による資源の再利用化
- ③エコオイルの使用増加及びエコカーの販売拡販を図る
- ④エコオイル・エコカーのメリットを良く説明する
- ⑤地域清掃活動(本社及び事業所周辺、兵庫運河等)
- ⑥脱廃プラスチック取組(紙ストロー、紙コースター)推進

7. 環境経営目標の実績



2024年4月～2025年3月運用期間の実績

項目	単位	2023年度 基準値	2024年度 目標	2024年度	目標達成率	削減率	評価	
				実績				
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,144,492	2,133,770	2,109,681	101.1%	△1.6%	○	
電力使用量	kWh	3,701,405	3,682,898	3,686,736	99.9%	△0.4%	○	
化石燃料	ガソリン使用量	L	321,258	319,652	301,875	105.9%	△6.0%	○
	軽油使用量	L	63,476	63,159	66,420	95.1%	4.6%	×
	都市ガス使用量	m ³	25,424	25,297	28,778	87.9%	13.2%	×
	LPGガス使用量	kg	259	258	207	124.6%	△20.1%	○
産業廃棄物排出量	kg	180,628	179,725	201,587	89.2%	11.6%	×	
一般廃棄物排出量	kg	23,629	23,511	23,050	102.0%	△2.5%	○	
水使用量	m ³	30,018	29,868	29,379	101.7%	△2.1%	○	

* 削減率=(実績-基準値)/基準値

目標達成○ 目標未達×

8. 環境経営活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

1. 取組結果の評価（削減実績：対基準値比）

1) 二酸化炭素排出量の削減

① 目標達成状況

削減率	△1.6%
目標達成率	101.1%

② 目標達成要因

- ・観測史上最長猛暑の影響もあり、エアコン(冷房)の使用頻度が増加した。
健康経営の観点から従業員の健康を最優先とし、整備工場への空調設備の導入も推進したが、新・中納車時燃料(L)の適正化やエコドライブの推進、社有車のエコカーへの切替促進等で化石燃料の使用量を抑える事が出来、二酸化炭素排出量の削減が達成できた事は非常に良かった。
- ・購入電力(関西電力)の二酸化炭素排出係数:0.318(Kg-CO₂/kWh)。

③ 今後の取組

- ・社有車燃料使用量は、安全運転管理者による啓発活動(エコドライブ10)の徹底もあり効果を上げたが、新世代店舗化に伴う整備工場の冷暖房による電気使用量増にも配慮しながら、今迄以上に不要な照明や待機電力のOFFを徹底し電力使用量削減に努める。
- ・環境活動経営実績の検証を、3ヶ月毎に行い店舗担当者と改善策を協議する。

2) 電力使用量の削減

① 目標達成状況

削減率	△0.4%
目標達成率	99.9%

② 目標達成要因

- ・猛暑によりエアコンの使用頻度が高まり、それに伴い電力使用量も増加傾向であったが、節電意識の高まり、残業時間の短縮、店舗担当者による環境教育訓練による啓発等により、僅差では有るが何とか前年より削減する事ができた。

③ 今後の取組

- ・冷暖房機器の更新や、照明器具のLED化を積極的に行い電気使用量の削減に努める。
- ・毎月の営業会議資料で二酸化炭素排出量を可視化する事で、節電意識の向上を図り削減目標達成を目指す。
- ・店舗担当者を筆頭に待機電源オフに努め、無駄な電力使用を抑制する。

3) ガソリン使用量の削減

① 目標達成状況

削減率	△6%
目標達成率	105.9%

② 目標達成要因

- ・安全運転管理者の啓発活動による社有車「エコドライブ10」の徹底。
- ・社有車の新型エコカーへの更新が増加し燃費改善が進んだ。
- ・来店促進策をフックに店舗来店率を高め、デモカー以外の社有燃料使用が削減出来た。

③ 今後の取組

- ・代車引渡時満タンでお引渡⇒返却時満タンでご返却頂く旨、貸出表での説明を確実に(署名取得)。
- ・サービスカーを含む社有車を、低燃費車両へ随時入替を行い、使用量削減を目指す。



4) 軽油使用量の削減

① 目標達成状況

削減率	4.6%
目標達成率	95.1%

② 目標未達要因

- ・安全運転管理者の啓発活動による社有車「エコドライブ10」の徹底。
- ・社有車(デモカー含)数の適正化等も行ったが、ディーゼル車販売が好調に推移し使用量が増加した。

③ 今後の取組

- ・代車引渡時満タンでお引渡⇒返却時満タンでご返却頂く旨、貸出表での説明を確実に(署名取得)。
- ・サービスカーを含む社有車を、低燃費車両へ随時入替を行い、使用量削減を目指す。

9. 環境経営活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

5) 都市ガス使用量の削減

① 目標達成状況

削減率	13.20%
目標達成率	87.9%

② 目標未達要因

- ・都市ガス使用量のほとんどが空調用、感染予防対策も含め定期換気の実施、使用時間の削減を図ったが、猛暑の影響も有り前年を下回る事が出来なかった。

③ 今後の取組

- ・ガス空調エアコン使用店舗機器の最新化を進める。

6) LPガス使用量の削減

① 目標達成状況

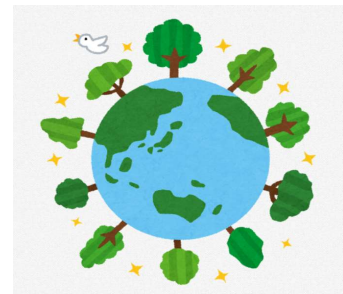
削減率	△20.1%
目標達成率	124.6%

② 目標達成要因

- ・LPガス使用量のほとんどが手洗用温水器、環境教育による削減意識の向上により達成出来た。

③ 今後の取組

- ・常温での使用を推奨並びに短時間での使用を推進する。
- ・未使用時には元栓から閉める事を各自徹底させる。
- ・2024年4月1日時点11店舗が使用、2024年6月30日小野店閉店並びに2025年2月8日太子店移転に伴い、2025年3月31日時点9店舗に減少。
- ・2025年6月30日東加古川店・福崎店・広畑店3店舗閉店に伴い、6店舗にまで減少予定。



7) 産業廃棄物排出量の削減

① 目標達成状況

削減率	11.6%
目標達成率	89.2%

② 目標未達要因

- ・リサイクル(有価販売)取組みと分別化推進による削減取組を推進したが排出量削減には至らず前年を上回る

③ 今後の取組

- ・順次、バツカンの使用を中止し、分別された廃棄物置場を設置し容量を小さくし、排出量の軽減を図る。
- ・分別内容の明確化をさらに行い、排出量の削減を図る(有価物への移行)。
- ・大型物・ペール缶・一斗缶等は、圧縮してから業者に有価で引渡し、リサイクル処理を行う。
- ・使用済自動車適正処理、全数商品車として引き取り、契約先解体業者にて正しく処理している。

8) 一般廃棄物排出量の削減

① 目標達成状況

削減率	△2.5%
目標達成率	102.0%

② 目標達成要因

- ・日常業務でリデュース、リユース、リサイクルの3Rを積極的に進める話し合いをし、モノを長く使い、使い終わったら分別し可能なものだけを廃棄物とすることを徹底した。
- タイムズカー川西能勢口駅前店・小野店閉店並びに、神戸部品センター・ジャガーランドローバー西宮・西宮店・太子店移転に伴う排出増の懸念もあったが排出量を削減する事が出来た。

③ 今後の取組

- ・ペーパーレスを推進し一般ゴミの削減を推進。
- ・個人情報資料の溶解再生紙化、シュレッダーの使用を抑え、定期的に収集処理を行う。

9) 取扱化学物質についてはSDSデータシート管理による、取扱量 移動量を把握しており、年1回の「リスクアセスメント研修」により危険性、健康障害のリスク低減を図っている。

10) 水使用量の削減

① 目標達成状況

削減率 △2.1%
目標達成率 101.7%

② 目標達成要因

- ・アフターコロナの影響で、ショールーム内やテーブル廻りの清潔さを、より一層保つため使用量が増えたが、入庫車両の状態に合わせた自動洗車機の活用を徹底すると共に、元栓の巡回チェックを強化する事で目標達

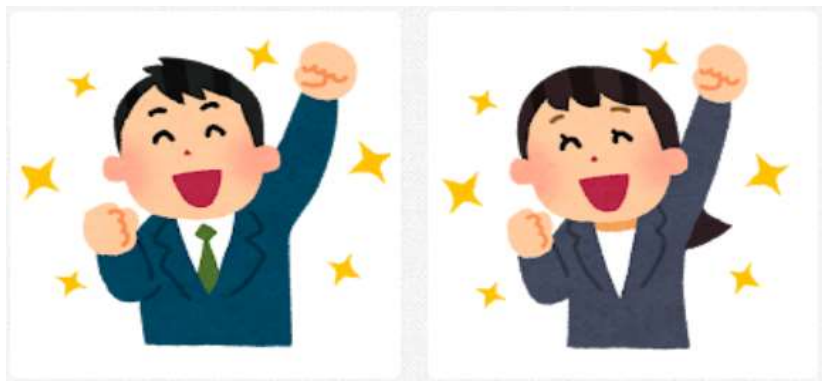
③ 今後の取組

- ・環境教育訓練を通じ、より一層の節水意識向上を図る。
- ・節水型自動洗車機の導入を積極的に行い、節水型機械を使用する事により、水道水の使用量削減を図る。
- ・無駄を減らす為、手洗い洗車を原則禁止とする。
- ・店舗担当者は、水道使用量増減を毎月確認する事で、漏水等事故の早期発見に繋げる。

11) 事業活動

① エコオイル、エコカーの販売を意識して提案していく。

上記の販売に当たっては、再度社内研修を徹底し、商品知識の習得に努めると同時に、お客様への購入メリットをしっかりと理解して説明出来る様に努め、拡販に結び付けていく。



10. 環境関連法規の違反・訴訟の有無

全社まとめ

遵守評価日: 2025年4月1日

1. 環境関連法規等の遵守状況の評価

法令名称	要求事項	確認結果
水質汚濁防止法	・特定施設の届出 (自動式車両洗淨施設)	○
下水道法	・特定施設の届出 (自動式車両洗淨施設)	○
浄化槽法	・浄化槽の届出 ・浄化槽の管理	○
騒音規制法	・規制基準の遵守 ・特定施設の届出 (コンプレッサー)	○
振動規制法	・規制基準の遵守 ・特定施設の届出 (コンプレッサー)	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物の適正処理 ・マニフェスト交付状況の報告 ・収集運搬、処理委託業者との契約	○
自動車リサイクル法	・使用済自動車の適正処理	○
兵庫県環境の保全と創造に関する条例	・届出等事業全般	○
フロン排出抑制法	・使用済業務用エアコンの事業者(フロン類回収業者) への適正な引渡し ・業務用冷凍空調機の簡易及び定期点検の実施・記録	○
消防法	・少量危険物貯蔵庫の届出 ・防火管理責任者の届出 ・消火設備の定期点検	○
家電リサイクル法	・特定家電製品4品目の適正な事業者(家電販売店)への引渡し	○
労働安全衛生法	大久保店BPセンター 塗装ブース (3基) リスクアセスメント実務確認	○
PRTR法	大久保店BPセンター(トルエン・キシレン)届出	○

各店舗毎にMECA21(マツダ環境保護プログラム)確認書に基づいて遵守状況の確認結果問題ありません。

2. 違反・訴訟の有無

3年間、環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。

また、同様に訴訟等についても、1件もありませんでした。

11.代表者による全体の評価及び見直し・指示

会社名	株式会社 神戸マツダ
活動期間	2024年4月1日～2025年3月31日

作成者	環境管理責任者 黒田 靖博
-----	---------------

見直し 関連情報	項目	確認	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	2 環境経営目標及び目標達成状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
	3 環境経営活動計画及び取組実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	コンプライアンスを遵守し、常に実施内容が確認できる体制作りを行う。内部監査チームの本部および店舗監査の実施運用を推進する。
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	7 取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	8 その他	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし

評価者	代表取締役社長 橋本 覚	実施日	2025年6月10日
-----	--------------	-----	------------

全体評価・コメント(環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等)

バリューチェンジャーSHINKA期スタート年に於いて「カーボンニュートラル」第2フェーズ「スタッフの意識改革」に進化し、CO₂排出量可視化のデータ分析とレポートの取り組みにより、各項目の削減目標値達成を目指した。CO₂排出量削減は、目標が達成できた。しかも各使用量等のデータを正確に把握(zeroホートシステム利用)することでスタッフ全員がリアルタイムで使用量を把握し意識するようになった。目標達成へ向けて、PDCAを繰り返し行い、持続的な取り組みへの期待や課題を相談し合い協力し合える職場造りを図る事とする。

代表者による 全体評価・見直し	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1 環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	引続きコンプライアンスの遵守を行い社会貢献活動を推進する。
	2 環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	2050年ネット・ゼロ目標として、2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すこと、さらに50%の高みに向け挑戦を続ける。
	3 環境経営活動計画・取組項目	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	再生可能エネルギー太陽光発電PPAモデル導入。
	4 環境関連法令に関する組織	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	内部監査チームの活動を定着し、コンプライアンスの遵守を行う。前回指摘事項の改善を判り易く指導する。
	5 実施体制における問題点	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	問題発生時に早期の対応を実施する
	6 その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	現状システムでの対応に問題なし。
	7 その他(外部への対応)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	今後も現状システムで外部からの苦情等の対応を実施していく。問題点はない。